

「2016年3月期決算説明会」主なQ&A

【JERAについて】

Q：JERAに関して、中部電力との事業統合の進捗状況を教えてください。

A：本年7月に予定しているJERAへのStep2移管（既存燃料事業（上流・調達）および既存海外発電・エネルギーインフラ事業の移管）に関しては順調に進んでいます。

また、既存火力発電事業の統合を目指すStep3移管についても、火力発電所を共同で効率的に運用することで大きなメリットが出ると考えており、中部電力と議論を重ねているところです。統合に係る判断を行う予定の2017年春頃に向けて、引き続き議論を続けていきます。

【全面自由化への対応について】

Q：電力全面自由化による市場シェアの喪失に歯止めをかける施策はありますか。

A：市場シェアの喪失に関しては、2017年4月よりガス販売が全面自由化され、電気とガスのセット販売が行えるようになることが、大きな転機となると思います。ガス事業に関してはLNGの調達力が競争力に直結する面が大きいと考えていますが、当社はJERAを通じた安価なLNG購入が期待できます。ガス販売が全面自由化される来年4月までの1年間しっかりと対策を立ててまいります。

【社債の発行について】

Q：今年度中を目標としている社債市場への復帰に関して教えてください。

A：社債市場への復帰に関しては、東京電力パワーグリッドによる発行を前提としており、社債投資家の皆さまへの丁寧な説明を続けるとともに、資金ニーズや市場環境を踏まえ、取り組んでまいります。

【株主還元について】

Q：新・総合特別事業計画に掲げている項目のうち、前倒しで達成している項目も多ありますが、復配の時期について、どのように考えているか教えてください。

A：株主還元の重要性は常に意識していますが、現時点では復配時期についてはコメントできません。2016年度末の原子力損害賠償・廃炉等支援機構による経営評価を経て自律的運営体制に移行したのちに、検討したいと考えています。

以上